

第四次産業革命スキル習得講座 フォローアップ時実施状況報告書(令和5年度実績)

令和5年度の認定講座の運営状況について、下記のとおり、フォローアップ時のアンケート結果を報告します。

調査対象講座の名称	AR/VR専門家育成プログラム
認定講座番号	50511-1110

(1)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	64 人		
② 受講開始時の就業状況等(問1)	1 正社員	61 人	②A:就業者計 ※()は氷河期世代内数計
	うち、就職氷河期世代(令和4年4月1日時点で36～51歳)	0 人	
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	うち、就職氷河期世代(令和4年4月1日時点で36～51歳)	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	1 人	
③ 就業していた受講者による講座の評価(問2)	うち、就職氷河期世代(令和4年4月1日時点で36～51歳)	0 人	62 ( 0 )
	4 非就業者	2 人	②B:非就業者計
	うち、就職氷河期世代(令和4年4月1日時点で36～51歳)	0 人	2
	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立った	4 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
2 配置転換等により希望の業務に従事できた	11 人		
3 社内外の評価が高まった	8 人		
4 円滑な転職に役立った	0 人		
5 趣味・教養に役立った	35 人		
6 その他の効果	3 人		
7 特に効果はなかった	1 人	62	
④ 就業していなかった受講者による講座の評価(問3(1))	1 早期に就職できた	1 人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 希望の職種・業界で就職できた	人	
	3 より良い条件(賃金等)で就職できた	人	
	4 趣味・教養に役立った	1 人	
	5 その他の効果	人	
	6 特に効果はなかった	人	
⑤ 受講者の就労状況(問3(2))	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	1 人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以降	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人	
	4 就職していない	1 人	
⑥ 講座の全体評価(問4)	1 大変満足	23 人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	38 人	
	3 どちらとも言えない	2 人	
	4 やや不満	1 人	
	5 大いに不満	人	

※年度を跨いで開講している講座については、②の記載にご注意ください。

(2)修了生のキャリアアップ等事例

本講座を受講したことで転職or就職につながった事例や社内で当該分野にかかる配置転換があった事例、給与があがった事例など、修了生のその後のキャリアアップ等に資するエピソードがあれば、最大2～3例で構いませんので、ご記載ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジニア未経験だったが、VR開発に携わるエンジニアとして再就職できた。</li> <li>・メタバース出版を視野に入れた美術史研究所を立ち上げた。</li> <li>・就業先において、VR関連の業務を新しく生み出す切っ掛けになった。</li> </ul>
--

(3)講座の再認定の申請の意向とその理由

本制度の認定期間は3年間です。自動的に認定が更新されるものではありませんので、認定期間終了後も引き続き認定を希望する場合は、再認定の申請手続(新規認定と同様の手続)を行う必要があります。

本報告書作成時点における再認定の申請の意向について、当てはまるものに1つ「○」を付けるとともに、その理由について可能な範囲で記載をお願いします。

1. 再認定の申請を希望する	○
2. 再認定の申請を希望しない	
3. 検討中	

(1.～3.を選んだ理由)

リスクリ講座認定が講座の評価となり認知度も上がり、かつ、受講生が助成金や給付金を活用して受講できるため、受講生側の経済的負担も緩和できるため。
---

※本報告書とともに、受講者アンケート(個票)を提出してください。

作成年月日 令和6年10月10日